

教育旅行受入対策会議（新型コロナウイルス感染症対策）

1. 感染症による佐渡への教育旅行の動き（情報共有）

5月6月実施で延期となった学校が全部で6校、バス台数8台、人数で289名。なお、キャンセルになった学校は1校、約90名。

幸い佐渡ではコロナ感染者は出ていない。学校は4月に入ってから本格的な動きが出てくると思うが、仮に9月に延期となった場合、既に一般のお客様からの予約も入ってきているので、希望に沿った予約がとれるかが心配される。スムーズに予約ができないと、佐渡以外で教育旅行の実施を検討する学校も出てくるかもしれないので、佐渡としてはこれらをサポートする取り組みが必要である。当面実施する対応策は下記のとおり。

- ① 延期等に係る相談窓口の設置
- ② 佐渡が行っている新型コロナウイルス感染症対策の周知
- ③ 添乗員不足や宿泊予約に関するサポート

2. 実施する対応策の詳細について

(1) 教育旅行受入に関する相談窓口の設置

一般社団法人 佐渡観光交流機構 旅行事業部

TEL：0259-58-7285 FAX：0259-23-5030 Mail:info@visitsado.com

(2) 佐渡が行っている新型コロナウイルス感染症への取り組み

○佐渡市、佐渡観光交流機構

佐渡市内修学旅行受入宿泊施設において下記感染対策を実施。

【チェックインのとき】

- ・宿泊者に対し、咳や発熱等の自覚症状をチェックシートで確認するなど聞き取りを行う。
- ・体調不良などの自覚症状がある場合は、これまでの立寄先や移動手段、経路等の聞き取りを行う。

【滞在中の対応】

- ・館内ではアルコール消毒液を配置、咳エチケット、手洗いの励行の掲示を行い、感染対策を呼び掛ける。
- ・宿泊者が体調不良の自覚症状や感染が疑われる場合は、できるだけ他の宿泊客から離れた部屋に移動していただき、保健所等の指定機関へ連絡し指示を求める。

【チェックアウトのとき】

- ・宿泊者に対し体調不良などの自覚症状はないかの聞き取りを行う。
- ・体調不良を訴えた場合、感染拡大防止のため、所持している場合は極力マスクの着用をお願いする。また、今後の行先や移動経路等を聞き取りし、次の移動先への情報提供を行う。
- ・宿泊者が滞在したすべての部屋については、通常清掃のほか、アルコール等で消毒を行う。

【従業員に対する指導】

- ・従業員には咳エチケットや手洗いの励行等、通常の感染対策を徹底させる。

- ・従業員が体調不良の宿泊者に対応することになった場合は、マスク着用を徹底させ、その後に発症がないか留意すること。

○新潟交通佐渡

- ・乗務員はマスク着用。
- ・定期バスでは乗降時両扉を開け換気する。乗務終了後は車内消毒の実施。
- ・貸切バスで乗降口にアルコール消毒液を設置し、お客様に利用のお願いをする。乗務終了後は定期バス同様、車内消毒の実施。

○佐渡汽船

- ・乗船前のサーモグラフィによる検温及び健康チェックの実施
- ・船員及び各港ターミナルスタッフのマスク着用。始業前の体温計測実施等健康状態の管理強化。
- ・滞船時は船内消毒の徹底及び換気の強化。
- ・船内、各港ターミナルにアルコール消毒液えお設置。
- ・2等客室での毛布の貸出を自粛。

(3) 受入体制に係る周知・PR

○佐渡観光交流機構

- ・当機構のホームページ等で新型コロナウイルスへの対応状況を逐次情報発信していく。

(4) 添乗員不足や宿泊予約に関するサポート

①添乗員の対応

小学校の修学旅行が9月に延期となった場合、既に一般客、ツアー客の予約や、既に中学生の修学旅行が9月に延期となっており、添乗員確保が厳しい状況と聞いている。

○佐渡観光交流機構

修学旅行が秋期に変更となった場合は添乗員の不足が考えられる。学校によっては添乗員なしで実施するところもあると思うが、佐渡島内限定での添乗員派遣業務を実施していくこととしており、あわせて旅行会社へも情報発信をしていきたい。

②宿泊予約に関するサポート

一般客の予約も入ってきている時期のため、宿泊施設の確保が難しくなることが予想されることから、円滑に宿泊予約ができるよう今後島内宿泊施設と協議していく。

3. その他

- ・受入側の対応として教育旅行団体の日程変更等の問合せは佐渡観光交流機構が担い、情報発信もしていくこととする。
- ・教育旅行が9月に延期になった場合の宿泊施設対応。
- ・2020年度教育旅行下見要項も発信していく。
 - ・11月に教育旅行を変更していただければバスも船もウエルカムであり、佐渡市として魅

力あるメリット等を示せないか検討していきたい。